

県指定天然記念物 「白いヒスイ輝石岩」を受贈・展示

地学系資料の整理と活用

地学系収蔵庫では2015年度（12月末時点）に主に次の作業を行いました。

1. 寄贈資料受入

クドウ地科学コレクション（岩石125点、鉱物373点）、岸本眞五コレクション（勝田層群／オキナワアナジャコ化石5点）

2. 館員採集資料受入

篠山層群産化石（1000点）

3. 資料登録

篠山層群産化石（恐竜・小型脊椎動物ほか）、松原コレクション（貝化石）

4. 展示

1階常設展示「ひょうごの岩石と鉱物」新設



写真1 クドウ地科学コレクションの受贈

3階常設展示「ひょうごの恐竜化石」リニューアル

ミニ企画展「下部白亜系篠山層群から発見された卵殻化石」、「標本でたどる アンモナイトの歴史展」、「下部白亜系篠山層群から発見された卵化石」

トピックス展「小さな化石の拡大模型 製作と活用」

クドウ地科学コレクション

クドウ地科学コレクションは朝来市和田山町在住の工藤智巳さんが50年以上かけて集められた但馬地方の鉱山を主とする金属・非金属鉱物の標本です。大屋町のヒスイ輝石岩や母岩の蛇紋岩に加えて、それらに伴って産出する曹長岩や角閃石岩と、金雲母やソーダ雲母などの鉱物が含まれています。兵庫県の鉱産資源の特色を知るうえでたいへん貴重な資料です。

市民鉱物学者が発見した岩石

白いヒスイ輝石岩は1971年に小西知巳さん（故人）と工藤智巳さんがヒジロ谷に散在する白色の転石群を見つけたことがきっかけで発見されました。お二人は1975年に始まった林道工事の際にさらに調査を進め、ついに母岩についてままたまのヒスイ輝石岩の原石を発見さ

れました。大屋の白いヒスイ輝石岩の発見は市民鉱物学者の長年の労苦のたまものなのです。

新展示「ひょうごの岩石と鉱物」

2015年11月1日にひとはく1階で新展示「ひょうごの岩石と鉱物」を公開しました。兵庫県には生野鉱山や明延鉱山、多田銀銅山など古代から採掘された鉱山が多数あり、それらの鉱山



写真2 ヒスイ輝石岩と曹長岩が混在する大型標本

や近接地域からは特色ある岩石・鉱物が産出してきました。新展示では、これらの代表的な岩石・鉱物標本を「クドウ地科学コレクション」の標本を中心に紹介しています。

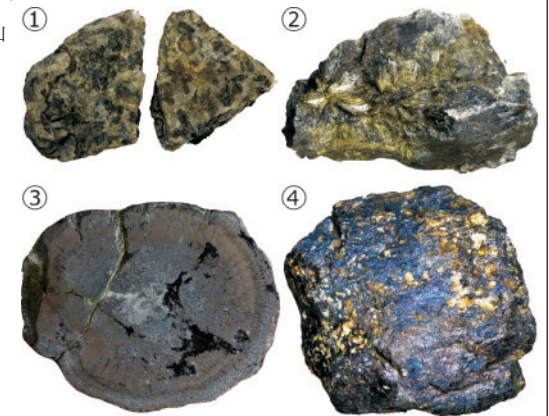
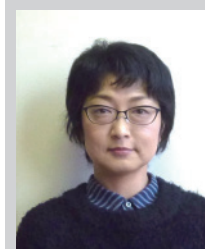


写真3 新展示に用いた兵庫県の代表的な金属・非金属鉱物 ①錫石鉱（明延鉱山）②頑火輝石（大屋川）③ニッケル鉱（夏梅鉱山）④斑銅鉱（多田銀銅山）



地学系収蔵庫の資料整理の推進

代表者：半田久美子

分担者：佐藤裕司、古谷 裕、三枝春生、加藤茂弘、池田忠広、菊池直樹

クドウ地科学コレクション担当：加藤茂弘、古谷 裕、菊池直樹